

平成28年 7月市長定例記者会見

日 時：平成28年7月1日（金）午後1時30分～2時

場 所：小杉庁舎401会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、北日本放送、射水CATV、エフエムいみず、庄東タイムス

当局出席者：市長、市長政策室長、行政管理部長、市長政策室次長、学校教育課長、地域福祉課 中山係長、生涯学習スポーツ課 作道課長補佐、まちづくり課長(司会)

質疑応答の概要

Q1. 小杉庁舎の跡地について、間もなくプロポーザルの公募期限となるが、応募状況や選考委員会の進め方を教えてほしい。

A1. プロポーザルに関しては、質問等の期間や現地説明の機会を設けてきた。締め切りはまだなので、状況を見ていきたい。

選定委員会について、外部の方に選考委員をお願いし、提案いただいたプロポーザルの内容について審査をしていただくことにしている。今後のスケジュールは応募書類の受付が7月6日までで、7月中旬に提出していただいた資料の一次評価を行ったあと、8月にプレゼンやヒアリングによる二次評価を経て、8月中旬までには優先交渉事業者を決定するスケジュールになっている。（市長）

Q1-1. 7月6日で締め切りだが、その時点では事業者などは公表されないのか。

A1-1. 今のところ公表の方針を決めているわけではないが、選考において何らかの影響があるという判断になれば公表を控えることになるし、そうでなければ何社だったかという事をお話しすることは差支えないが、現段階では決まっていない。数の公表は可能。（市長）

Q2. サクラマスについて、大門や堀岡で順調に生育しているということだが、実際にまずずしとなって商品化されるのはいつごろか。

A2. 大門漁業組合でふ化、堀岡養殖漁業組合で生育させ大門へ戻し採卵し、次の時期にふ化させるという純粋な射水産のスタイルを構築していき

たい。まだ実際の数量については、生産量を増やしていかななくてはいけない。お米や熊笹作りも並行して行うことにしている。お米については、今年市内の田んぼで試験的に米の生産を行い、採れたお米の状況も確認しながら調理、加工を研究していく必要もあるので期限は決めづらいが、再来年くらいに市場でPRできればと思っている。(市長)

Q3. 定住促進の助成金について、どのくらいの予算を想定し、何人くらいを見込んでいるのか。

A3. 今年については、人数としては10人くらいかと思っている。予算の範囲内という言い方だが、応募の状況や効果を検証しながら次年度以降実際どのくらいが適正な予算規模か考えていく必要がある。(市長)

Q4. 不登校のアドバイザーについて、一人ということではよかったか。どのような医師なのか教えてほしい。

A4. 教育アドバイザーについては、市の医師会に協力依頼をし、医師会から了承を得ている。医師会の方で決めていただけるものを思っているが、こちらとしては1、2人という認識をしているが、具体的な名前については、医師会にお願いしている状況なので、この場では控えさせていただく。(市長)